

## 離 大船渡市勤労青少年ホームへ活動費を寄付 れていても、心は一つ。

肝付町と岩手県大船渡市は銀河連邦のつながりがあることから、両市町の勤労青少年ホーム同士も交流を行っています。

7月14日(土)、勤労青少年ホーム利用者の会の役員が岩手県の大船渡市勤労青少年ホームに出向き、これまでのイベントで行った募金やバザーの収益金 102,710 円を、東日本大震災からの復興に日々努力されている若い方々の活動に役立ててもらおうと、大船渡市の大船渡市体育協会の佐藤会長に届けました。

今回の寄付金額は「(心は)一つ。おおふなど」という語呂合わせのメッセージも含まれているそうです。

利用者の会会長の大山晃広さんは「まだ復興は道半ば。これからも取り組みを続け両ホームの絆を深めていきたいです。」と話されました。



## 貴 重な宇宙大豆、子どもたちが気持ちを込めて植え付け



7月14日、岸良小中学校で宇宙大豆「フクユタカ」の植え付けが行われました。今回参加したのは、小学生の児童 12 名。昨年度は天候不良で不作だったため、今年も栽培できるか心配されましたが、株式会社リバネスさんより貴重な種を 40 粒譲り受け学校の菜園で栽培することになりました。子どもたちは、農家の福留逸夫さん夫妻にご指導いた

だきながら、丁寧に植え付けることができました。鳥に食べられないように水糸やネットを張り、今ではいくつかの芽が出始めています。岸良小中学校のみなさん、これから夏休みの間に大きく成長し実をたくさんつけるように、観察や世話を頑張ってください。



## 第 12回内之浦地区クリーン作戦

8月7日(火)午前6時30分から、内之浦地区の国道・県道沿いのゴミ拾いを行う「第12回クリーン作戦」を実施いたしました。早朝より地域住民、各団体の方々が多数参加され、空き缶、ペットボトルなどたくさんのゴミを拾い集めることができました。

きれいな道路でドライバーも気持ちよく安全運転ができると思います。

国道 448 号線、県道 561 号線は、「大隅半島南回りルート」にも指定されており、今後もロケットの打ち上げ等で町外からの観光客も多数訪れますので、皆様のご協力のもと、「ポイ捨てをしない・させない」きれいな町にしていきたいと思います。



早朝からのボランティア活動お疲れ様でした